

大規模養鶏場に設置した脱臭装置が画期的な効果を発揮

当センターが規模決定と基本設計を行い、中丹管内の大規模養鶏場で設置された、木材チップを利用した脱臭装置が本格稼働を開始しました。

鶏ふん処理施設で発生する臭気は、アンモニア濃度が200ppmに達する強烈な臭気でしたが、脱臭槽を通過した空気中のアンモニア濃度は0～5ppmにまで減少しており、極めて高い脱臭効果が確認できました。

設置者も、場内の作業環境だけでなく、周辺地域の環境が飛躍的に改善したと喜んでおられ、今後は、効果の持続状況等の確認を継続するとともに、他の臭気問題を抱える農場にも積極的に技術の導入を図っていくこととします。



完成した脱臭槽



アンモニア濃度の測定